

令和4年4月20日
東京都立東大和南高等学校
学校長 川瀬 徹

保護者各位

本校の学校関係者で陽性者が出た場合の対応について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。東京都の感染状況が下げ止まりの中、本校では感染対策を講じて、全ての教育活動を継続しております。

ただし、複数の陽性の者が団体（クラス・部活動等）で出た場合は、下記のとおり対応して参りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。なお、この対応は今後の社会情勢や東京都教育委員会からの通知により変更する可能性があります。

記

- ①陽性の生徒は自宅待機療養となる。医療機関の指示に従う。
- ②陽性の生徒と感染可能期間（発症日の2日前から自宅待機となるまで）に感染対策を行わずに飲食を共にした者は、濃厚接触者と判断し、PCR検査を実施する。
 - ⇒症状有り 医療機関を受診し医師の指示に従う
 - ⇒症状無し PCR検査を受けない場合 5日間出席停止（オンライン学習）
 - ⇒症状無し PCR検査を受ける場合 陽性＝自宅待機療養 陰性＝登校可能
- ③陽性の生徒が一団体内に複数出た場合、一時的にその団体の活動を休止する。（オンライン学習）その団体に所属する者はPCR検査を実施する。
 - ⇒結果 陽性＝自宅待機療養 陰性＝学校に登校可能とし部活動や行事に参加可能

※結果が出るまでは無症状であっても自宅待機とする。

※PCR検査に関しては学校で配布するが、医療機関等で検査した結果も有効となる。

なお、上記はあくまでも、学校関係者の中で陽性者や濃厚接触者が発生した場合の対応となります。生徒本人が、同居家族の濃厚接触者となってしまった場合は、同居人の発症日・検体採取日・感染対策を講じた日のいずれか遅いほうを0日とし、翌日から7日間の自宅待機となります。なお、薬事承認済みの抗原定性検査キットを用いて、待機期間4・5日目に連続して陰性が確認できれば、5日目から自宅待機を解除することができます。

以上